

【 入院診療計画書 : 下肢静脈瘤の手術を受ける方へ 】

ID

- 【 病名 : 下肢静脈瘤 】 氏名 様
- 【 特別な栄養管理の必要性 : あり なし ※当院では、管理栄養士による栄養評価を行い必要に応じて栄養指導させていただきます。】
- 【 栄養計画 : 食ありの場合→院内約束食事箋に基づき適切な栄養管理に努めます。 食止めの場合→絶飲食の為の輸液管理を行い適切な栄養管理に努めます。】
- 【 総合的機能評価 : あり なし ※総合的機能評価を行う場合の評価結果は別紙にてご説明させていただきます。】

注:病名/入院期間等は、現時点で考えられるもので検査や治療、病態により変更となる場合があります。

経過	手術前日	当日手術前	当日手術直後	術後1時間～3時間～退院まで	
日時	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	★1泊入院の場合の退院日 月 日 ()	
目標	<input type="checkbox"/> 入院・手術の流れが理解できる。 <input type="checkbox"/> 手術に対する不明点を尋ねることができる。 <input type="checkbox"/> 不安が最小限で、手術を受けることができる。		★ 退院目標 ★ ※日帰り入院患者様の退院時間の目安:術後約3時間-5時間程度となります。 <input type="checkbox"/> 入院時の日常生活動作で退院できる。(ADLスコア<DPC調査票)を用いて評価します) <input type="checkbox"/> 傷の痛みが、痛みの評価表(NRS)を用いて5以下でコントロールできる。 <input type="checkbox"/> 出血、麻酔の副作用(尿が出ない/吐気/頭痛など)の症状が無く、退院後の生活への不安が最小限である。		
食事	<input type="checkbox"/> 24時以降食事不可(禁酒)。飲水は当日(:)まで可。(水・麦茶・アルジネートウォーター)		<input type="checkbox"/> 局所麻酔・静脈麻酔で手術された方は、術後1時間程度で症状に合わせ飲食可となります。 <input type="checkbox"/> 腰椎麻酔で手術された方は、術後3時間程度で症状に合わせ飲食可となります。		
検査	<input type="checkbox"/> 外来にて術前検査済みです。		<input type="checkbox"/> 必要に応じて適宜施行いたします。		
治療処置	<input type="checkbox"/> 手術に備えて禁煙しましょう。 	<input type="checkbox"/> 義歯・装飾品・湿布類・眼鏡・コンタクトレンズなどを外します。 <input type="checkbox"/> 手術着へ更衣し、パンツを履き替えます。 <input type="checkbox"/> 体温・血圧など測定します。 <input type="checkbox"/> 点滴をはじめます。 <input type="checkbox"/> 手術する部位にマークをつけます。	<input type="checkbox"/> 体温・血圧など測定します。 <input type="checkbox"/> 点滴は継続します。 <input type="checkbox"/> 1泊の方は寝衣へ着替えます。 	<input type="checkbox"/> 体温・血圧など測定します。 <input type="checkbox"/> 点滴終了の目安は、 ①食事、水分がとれる。 ②排尿がある。 ③頭痛や嘔気などの症状がない。 ④1人で歩行できる。 ⑤薬の使用の有無に関わらず痛みがコントロールできている。 <input type="checkbox"/> 腰椎麻酔の場合、麻酔の回復状況に個人差がありますので初回の排尿までに時間がかかる場合があります。最後の排尿から6～8時間以内に排尿がない場合は、尿を管でとることがあります。 <input type="checkbox"/> 日帰りの方は、退院の前に医師の診察があります。 <input type="checkbox"/> 1泊入院の方は、翌日の朝、看護師と包帯を外し持参いただいた弾性ストッキングを着用します。	
安静度	<input type="checkbox"/> 制限はありません。		<input type="checkbox"/> ベット上安静です。 <input type="checkbox"/> 状況により看護師とトイレ歩行は可能。	<input type="checkbox"/> 局所麻酔・静脈麻酔で手術された方は、術後1時間程度でトイレ歩行できます。 <input type="checkbox"/> 腰椎麻酔で手術された方は、術後3時間程度でトイレ歩行できます。 (※腰椎麻酔の方は下肢や臀部などのしびれがとれてからとなります。)	
説明指導	<input type="checkbox"/> 手術前日までに入院・手術のオリエンテーションをします。 <input type="checkbox"/> 内服に関して ・休薬() ・休止薬以外の朝の薬はいつも通り飲んで下さい。 () <input type="checkbox"/> 男性はひげを剃ってきて下さい。 <input type="checkbox"/> お化粧/マニキュア類はしないで下さい。 <input type="checkbox"/> 当日は送迎か公共交通機関で来院して下さい。		<input type="checkbox"/> 手術後、痛みあるときはお薬を使用しますので我慢せず看護師へお伝えください。 <input type="checkbox"/> 次回の外来予約は術後約7～10日前後です。予約表をお渡ししますのでご確認下さい。 <input type="checkbox"/> 休薬は、(/)から再開となります。 <input type="checkbox"/> 日帰り予定の方でも、医師の判断により1泊になる場合があります。 (例:痛み、出血、排尿困難などの症状がある場合) <input type="checkbox"/> 1泊された方は、医師の診察後、午前10時～11時に退院になります。		
上記、入院診療計画について十分な説明を受け上で同意いたします。			同意年月日	平成	年 月 日
本人/親族 または代理人(続柄)		主治医	印	説明看護師	



【退院療養計画書：退院翌日から次回外来診察日 月 日()までの過ごし方】



日帰りで退院された患者様：傷の痛みや体調の確認のため、手術翌日、看護師よりお電話をさせていただきます。
ご質問などありましたら遠慮なくお尋ね下さい。(日曜祝日の場合は休み明けにお電話します)



《傷について》

- 1、日帰りの方は、ご自身で包帯とガーゼを取り、弾性ストッキングを履いて下さい。(就寝時は脱いで下さい)
- 2、傷には傷が乾燥して治ると自然にはがれ落ちるテープが貼ってあります。
さらにその上に透明な防水フィルムで保護していますので、フィルムははがさずそのままにしておいて下さい。
はがれてしまった場合は市販の防水絆創膏で保護して下さい。
- 3、数日間は足がむくむ事がありますので、少し足を高くして休むよようにして下さい。
- 4、内出血により広い範囲で青あざになりますが、心配はいりません。経過には個人差がありますが、徐々に吸収され消失しますので様子を見て下さい。

《痛みについて》

- 1、痛みの程度や持続期間には個人差があります。強い痛みは通常3～5日程度の安静で軽快しますので、この期間は無理な外出を控え、痛みがあるときは我慢せず処方された痛み止めを飲んで下さい。

《生活について》

- 1、シャワー浴は手術翌日から可能です。
- 2、デスクワーク程度は可能ですが、重い物を持ったり、長時間の立ち仕事は控えてください。
- 3、入浴、運動については次回の外来診察で医師に確認してください。
- 4、正座や横座り、あぐらなどは血流が悪くなるため、1ヶ月位はしないよう気をつけましょう。
- 5、嗜好品(タバコ・アルコールなど)は次回の外来診察で医師の許可がでるまで控えてください。

《次のような症状がある時は外科外来にお問い合わせください》

- * 防水フィルムが浮いてしまうほどの出血が見られるとき
- * 痛み止めを飲んでも、痛みが和らがないとき
- * 38度以上の発熱症状があるとき
- * その他、不明な点があるとき

(※なお、診療時間外、休日の場合は救急外来で対応させていただきますので病院代表まで御連絡ください。)

